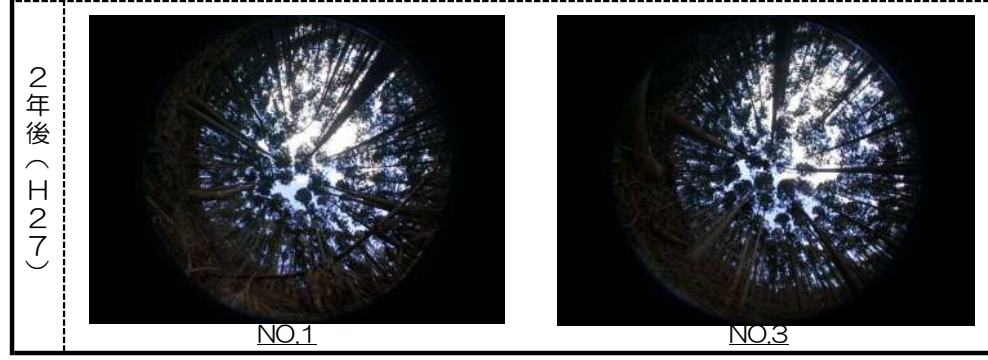


【現況】

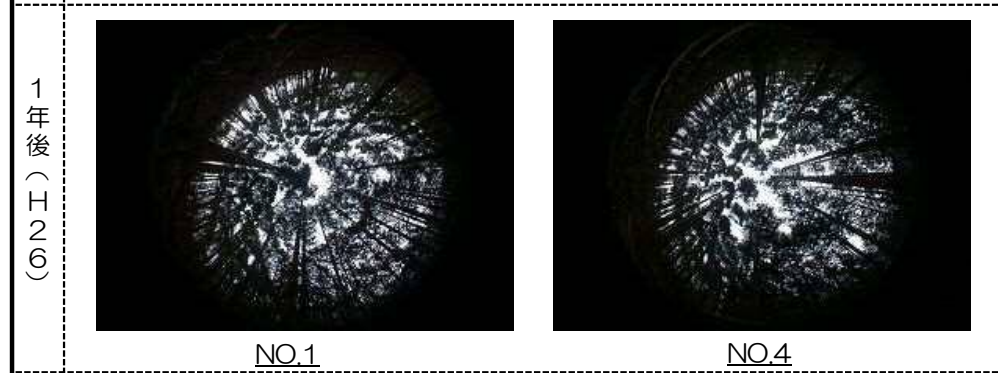
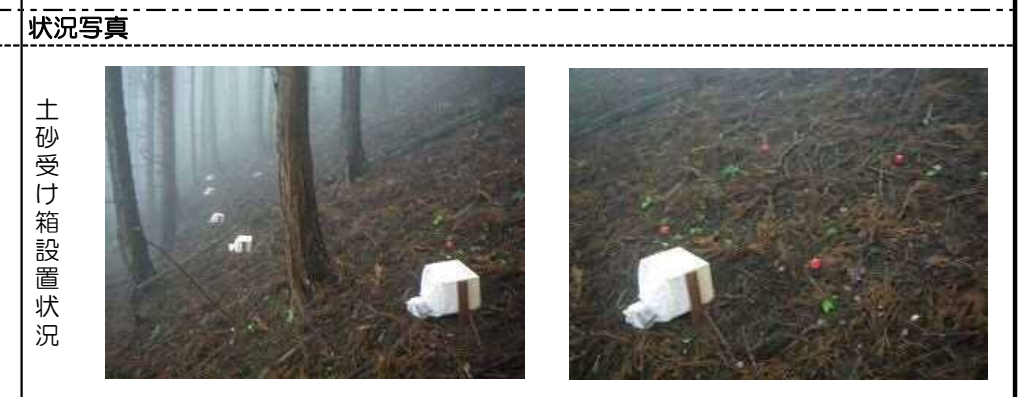
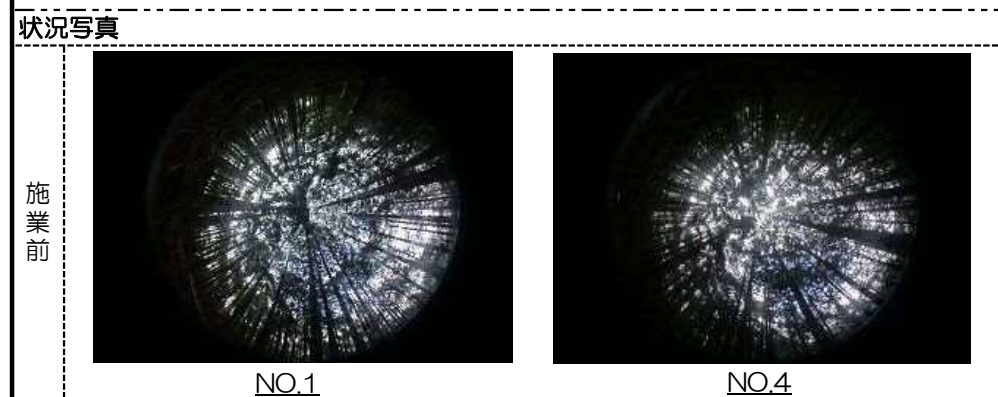
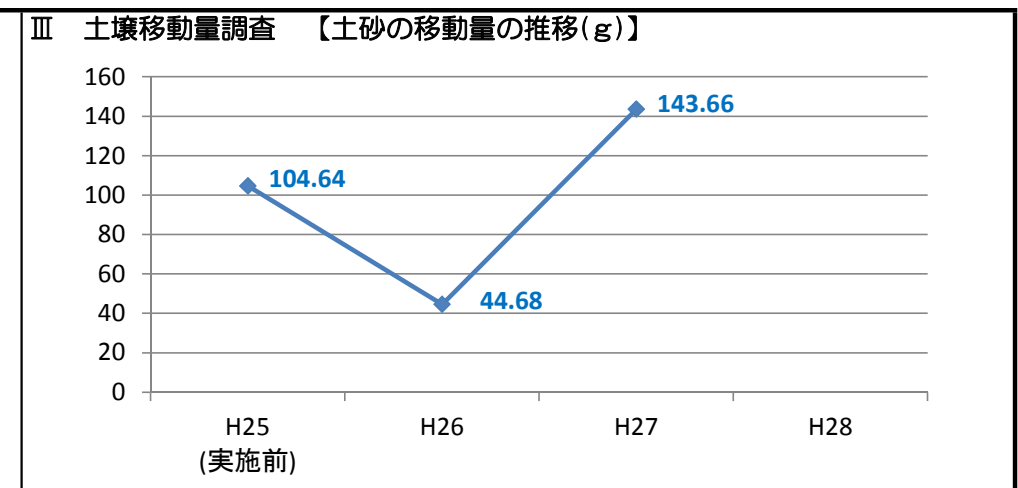
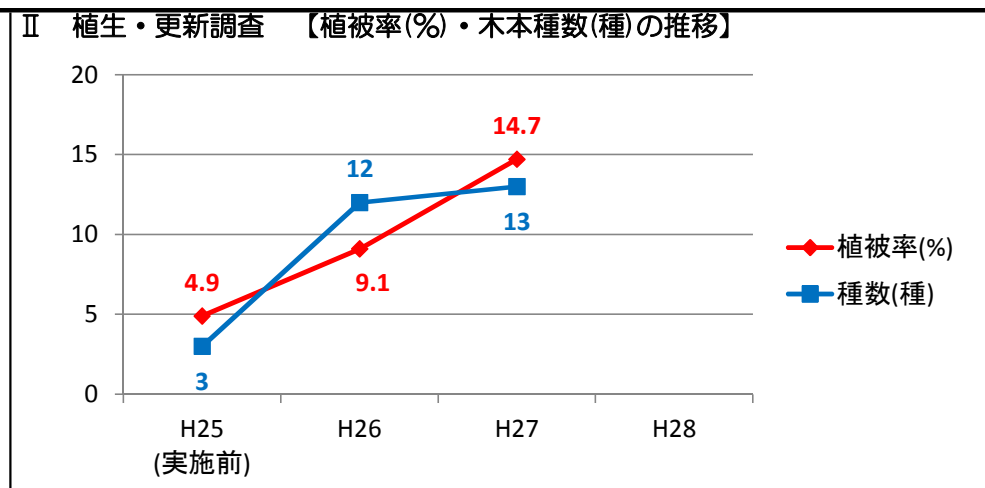
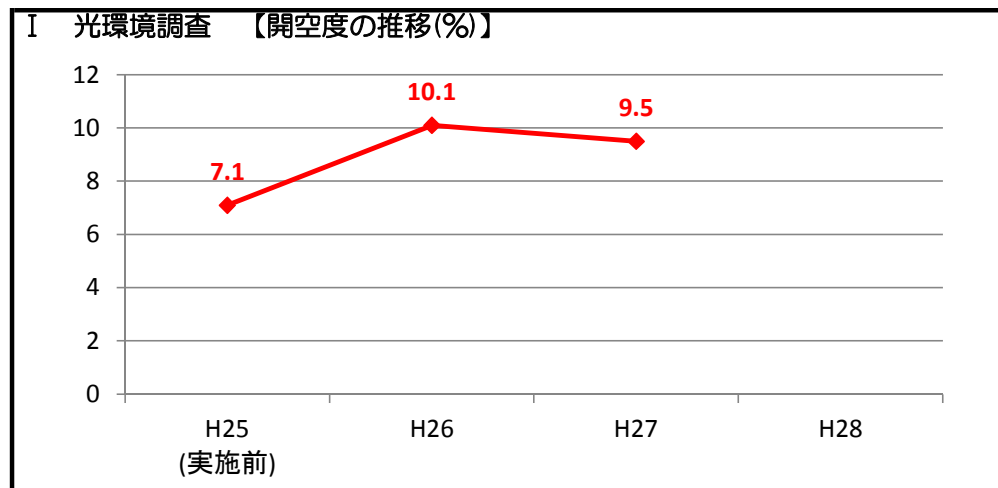
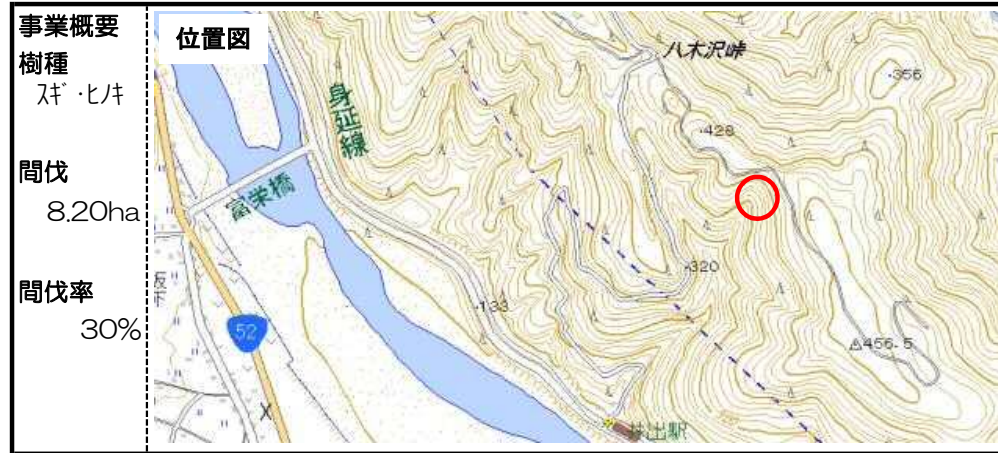
| 毎木調査項目      | 施業前  | 施業後  | 備考 |
|-------------|------|------|----|
| 調査区内立木本数(本) | 38   | 26   |    |
| 平均胸高直径(cm)  | 26.5 | 31.2 |    |

・間伐の実施により、林内が明るくなった。  
・地表面の平均傾斜は31°と比較的急勾配であるが、スギの落葉やシダ類等に覆われており、安定している。



【所見】

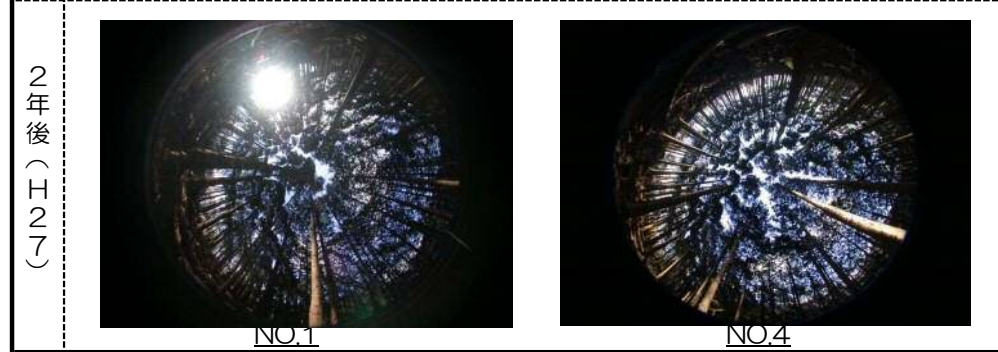
- ・開空度、植被率ともに改善された。
- ・土砂移動量は増加したが、偶発的な落石によるものと思われる。
- ・調査区全体での木本種の発生数も維持されており、今後の針広混交林化が期待される。



【現況】

| 毎木調査項目      | 施業前  | 施業後  | 備考 |
|-------------|------|------|----|
| 調査区内立木本数(本) | 58   | 29   |    |
| 平均胸高直径(cm)  | 25.0 | 29.9 |    |

・間伐の結果、林内が明るくなった。  
・地表面の傾斜は 34° と比較的急勾配であるが、スギの落葉が堆積していることもあり、現時点では洗掘等の土砂流出の痕跡は見られない。

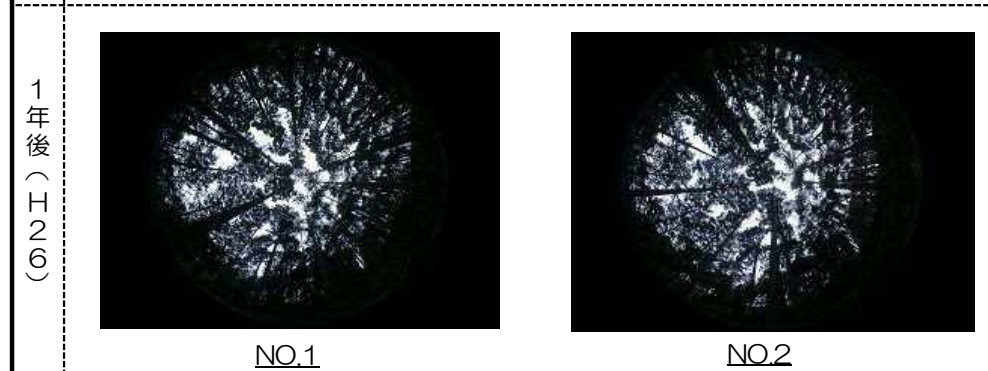
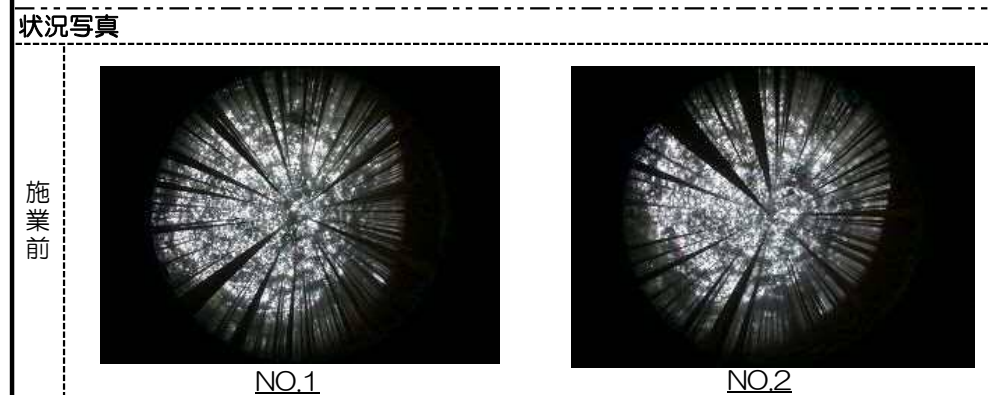
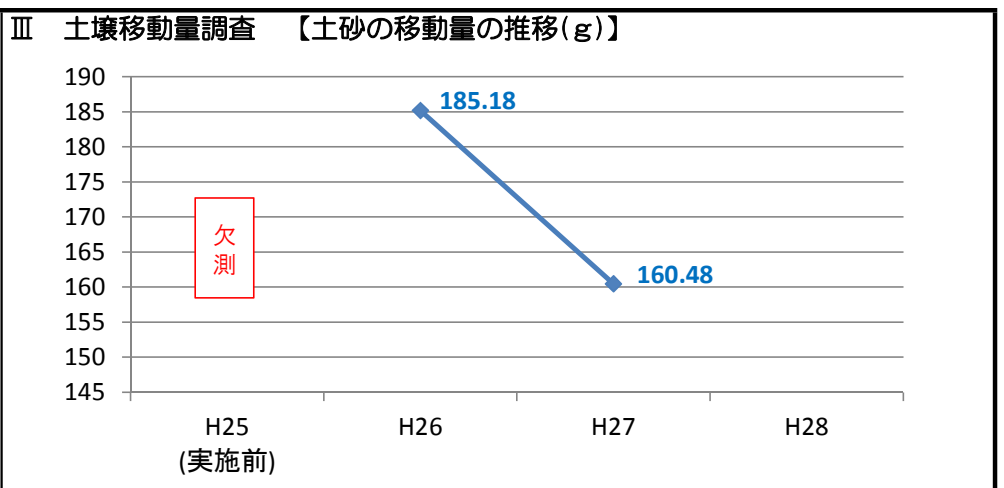
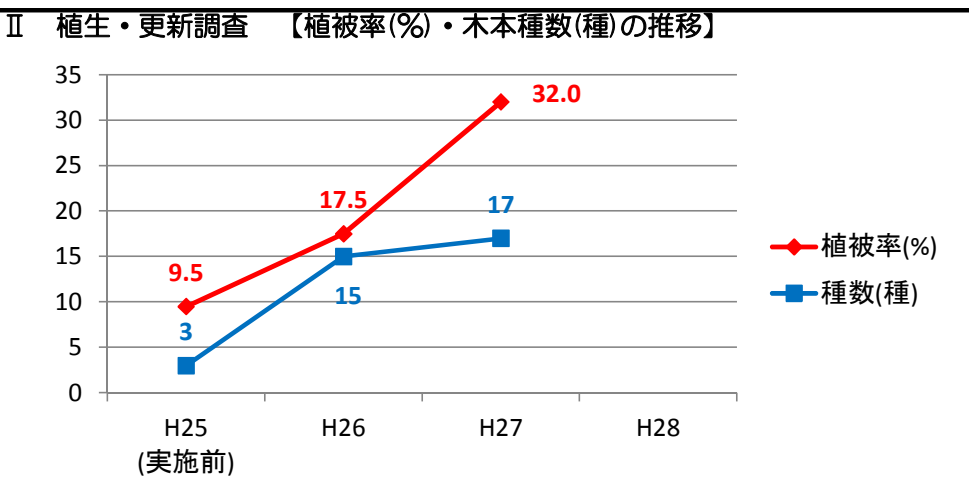
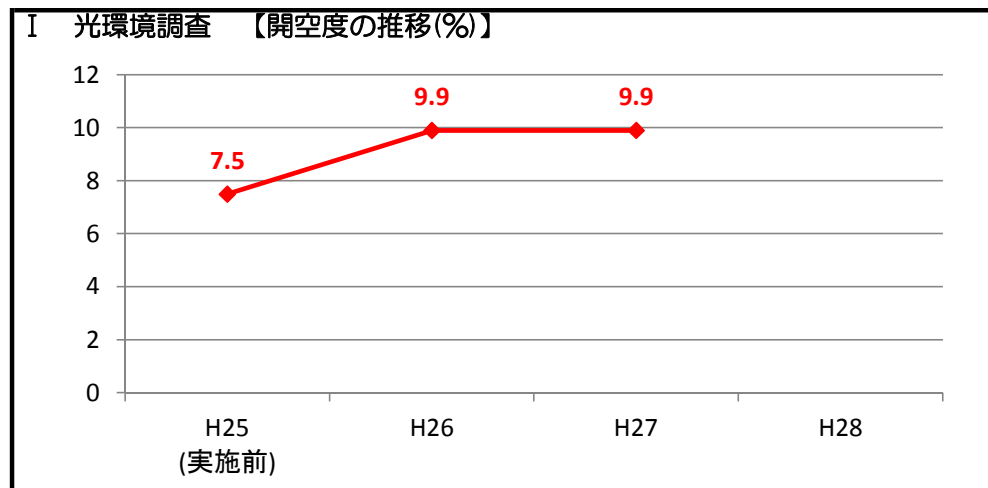


【所見】

・開空度は若干低下したものの維持されており、植被率も改善し続けている。  
・土砂移動量は増加したものの、地表面に浸食の痕跡等は見られず、比較的安定している。  
・調査区全体での木本種数も増加しており、今後の針広混交林化が期待される。

事業概要  
樹種 杉・ヒノキ  
間伐 0.87ha  
間伐率 30%

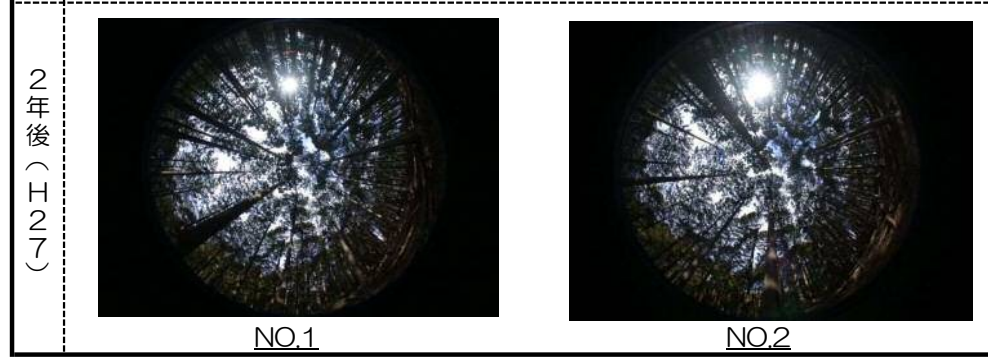
位置図



【現況】

| 毎木調査項目      | 施業前  | 施業後  | 備考 |
|-------------|------|------|----|
| 調査区内立木本数(本) | 65   | 34   |    |
| 平均胸高直径(cm)  | 22.6 | 25.6 |    |

- 間伐の実施により、林内が明るくなった。
- 地表面の平均傾斜は33°と比較的急勾配。
- 部分的にスギの落葉等に覆われており、林床部は安定している。

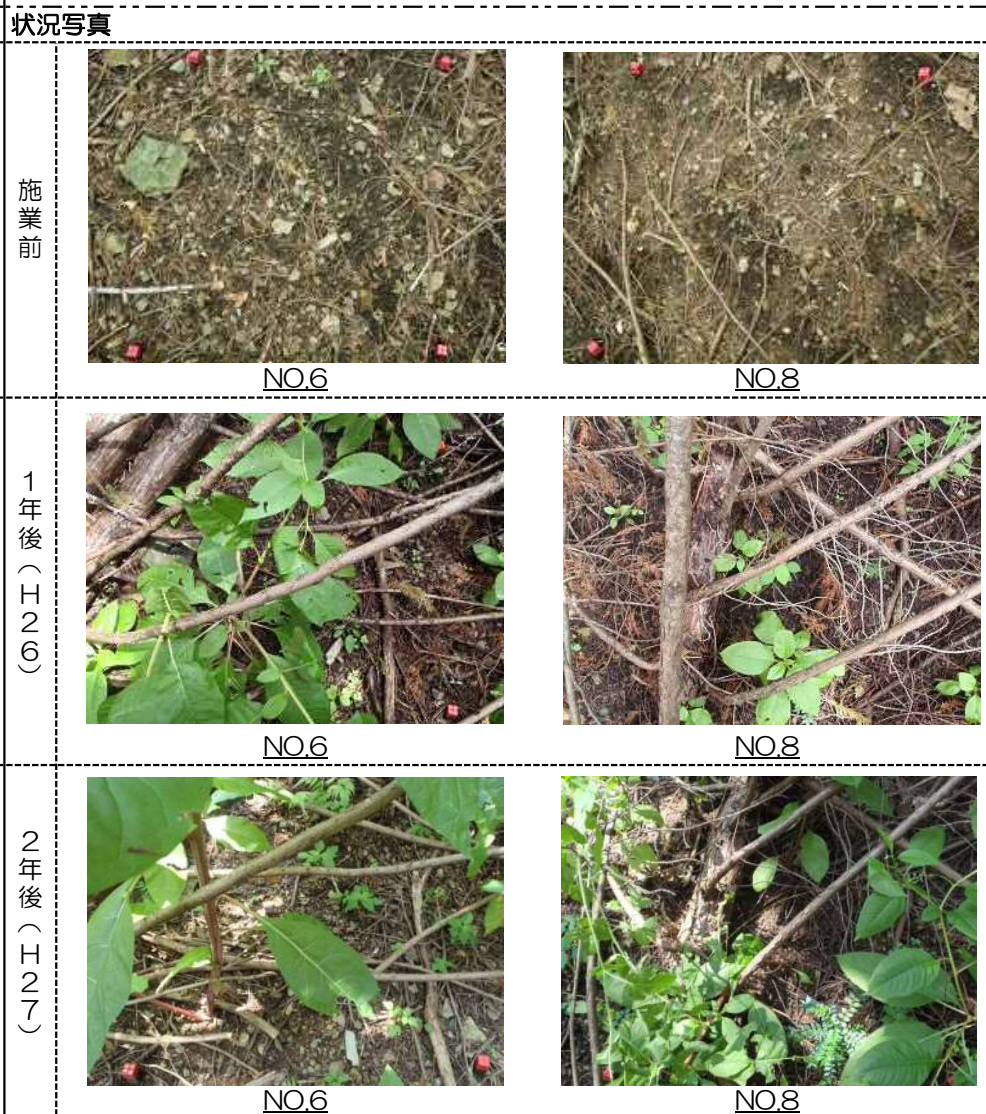
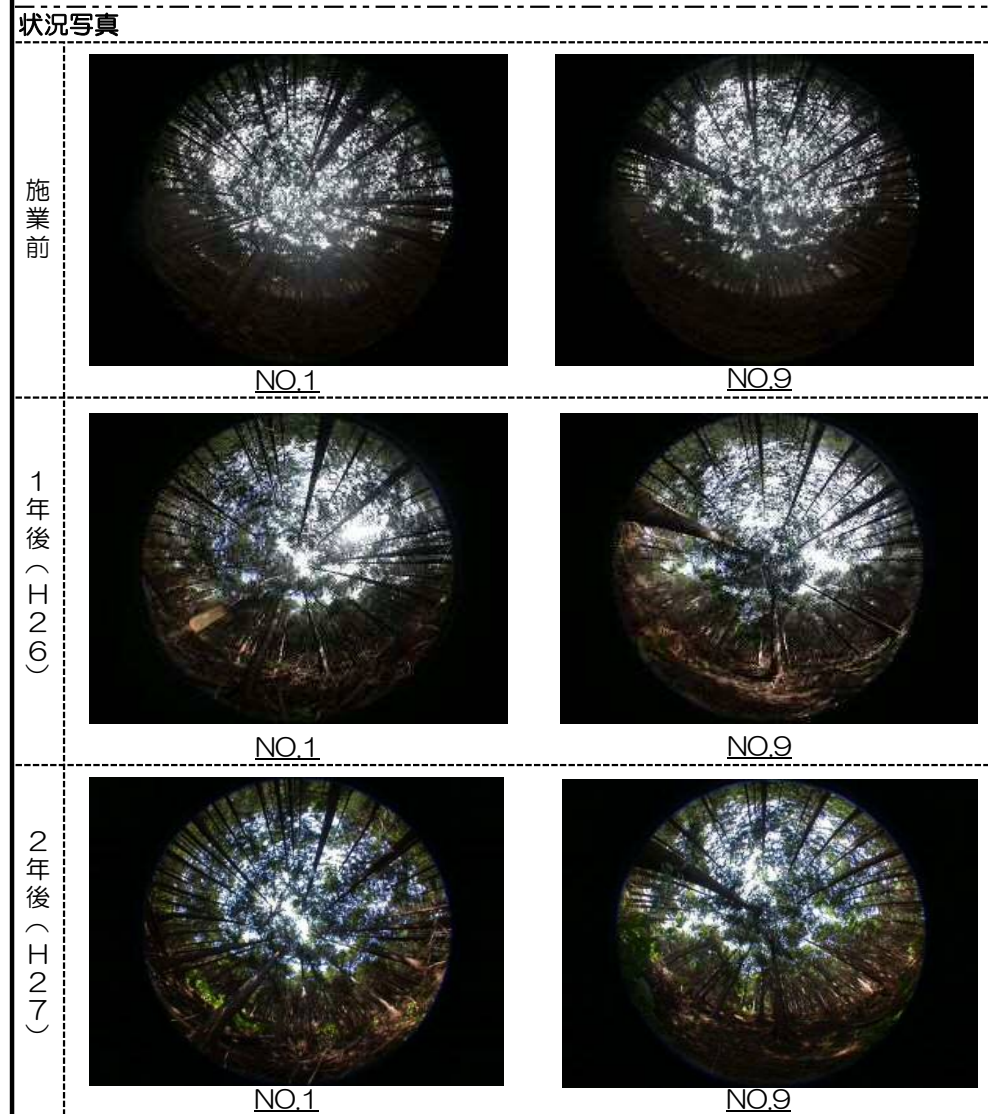
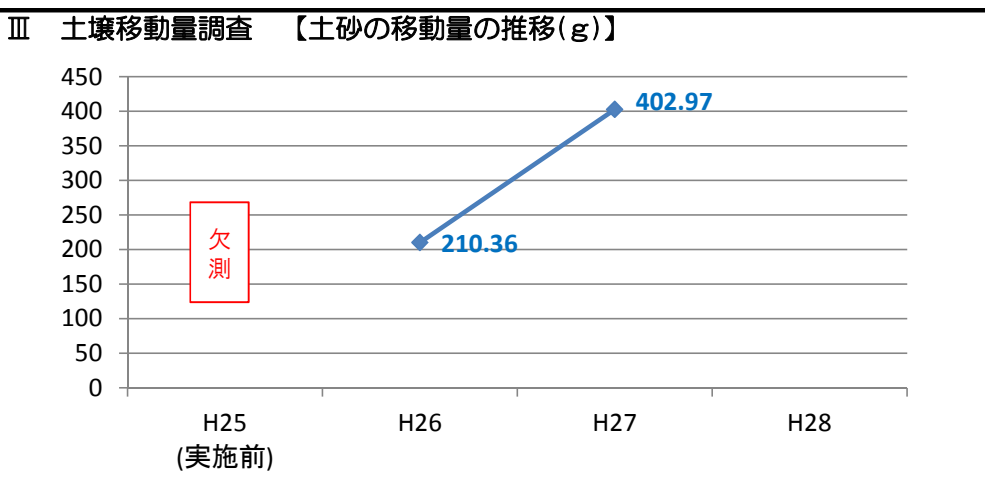
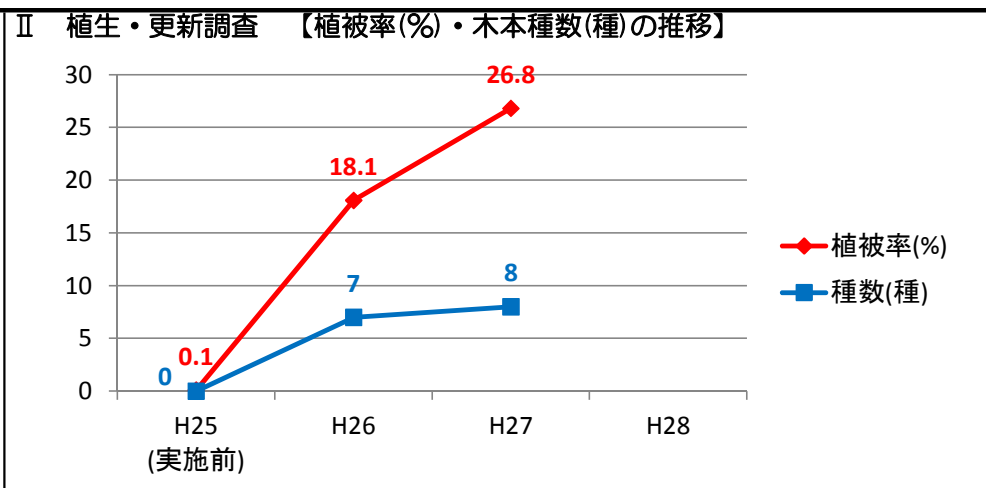
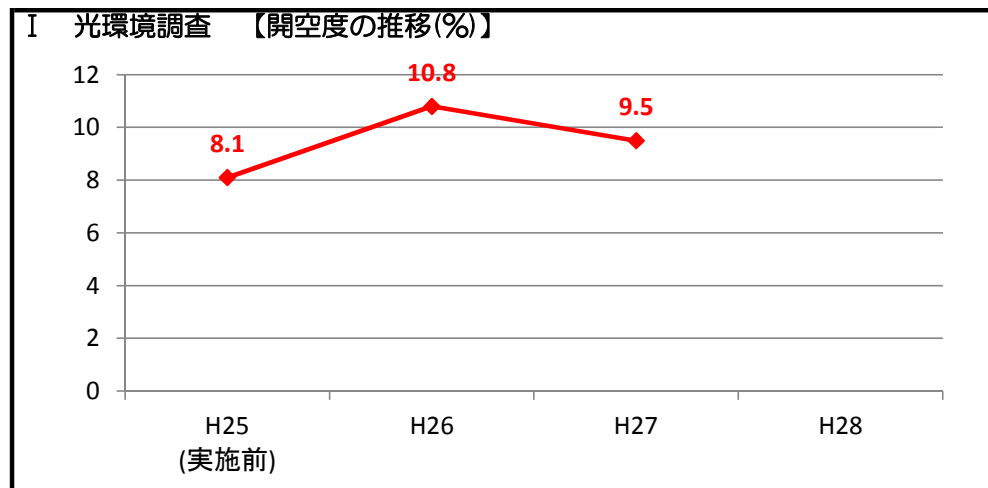
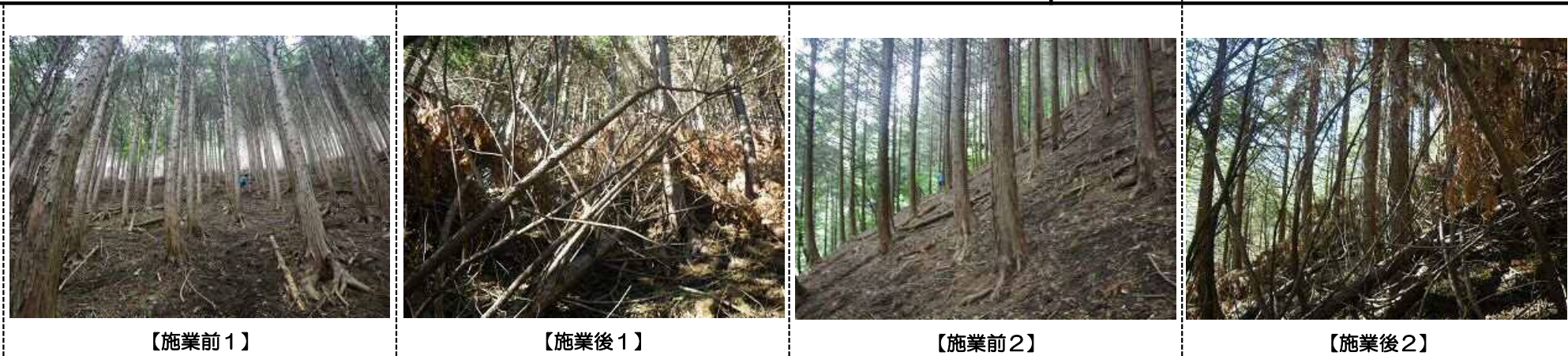


【所見】

- 開空度は維持されており、植被率は増加した。
- 枝葉などのリターと共に、比較的まとまった量の土砂が採取されたが、移動量は減少し、植被率の回復が寄与しているものと思われる。
- 調査区全体での木本種数も増加しており、今後の針広混交林化が期待される。

**事業概要**  
 樹種 ヒノキ  
 間伐 0.48ha  
 間伐率 30%

**位置図**



**状況写真**

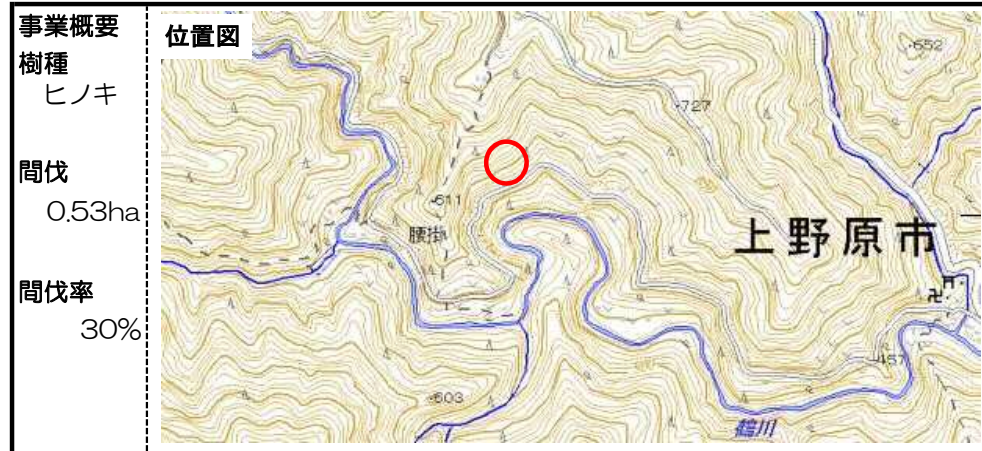
**【現況】**

| 毎木調査項目      | 施業前  | 施業後  | 備考 |
|-------------|------|------|----|
| 調査区内立木本数(本) | 63   | 39   |    |
| 平均胸高直径(cm)  | 21.5 | 23.1 |    |

- 間伐の実施により、林内が明るくなった。
- 地表面の傾斜は35°と急勾配。
- 伐採木が林内に残置されている。
- 腐植層は薄く、表土が露出しているが、安定している。

**【所見】**

- 開空度は若干低下したものの、植被率の改善は継続している。
- 植被率は改善したものの土砂の移動量は増加しており、急勾配であることが関係しているかもしれない。
- 調査区全体で木本種数も増加しており、今後の針広混交林化が期待される。



【施業前1】



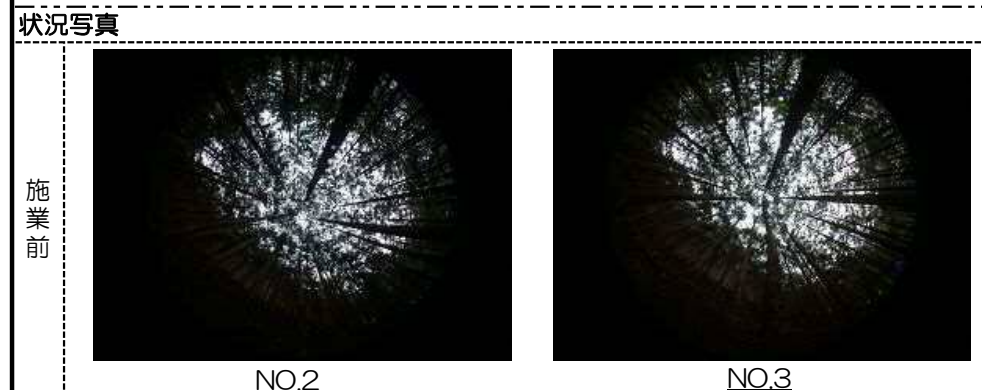
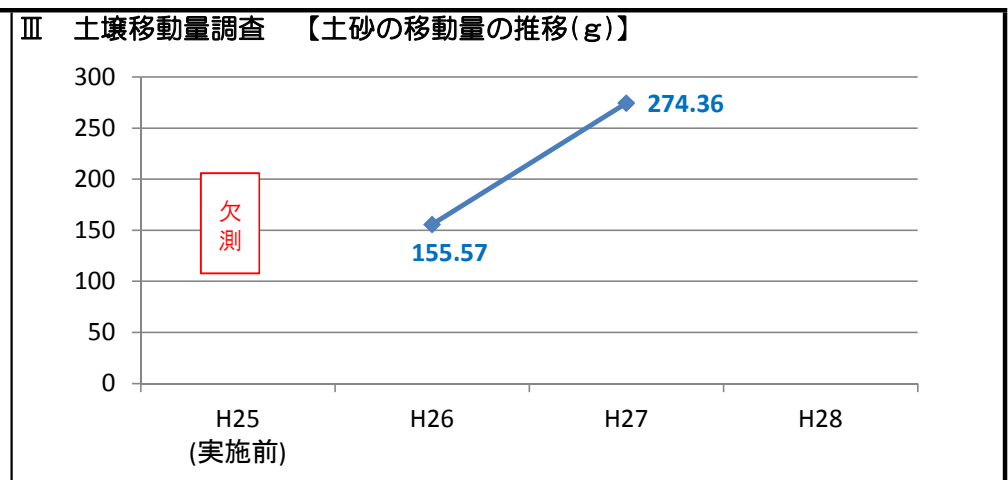
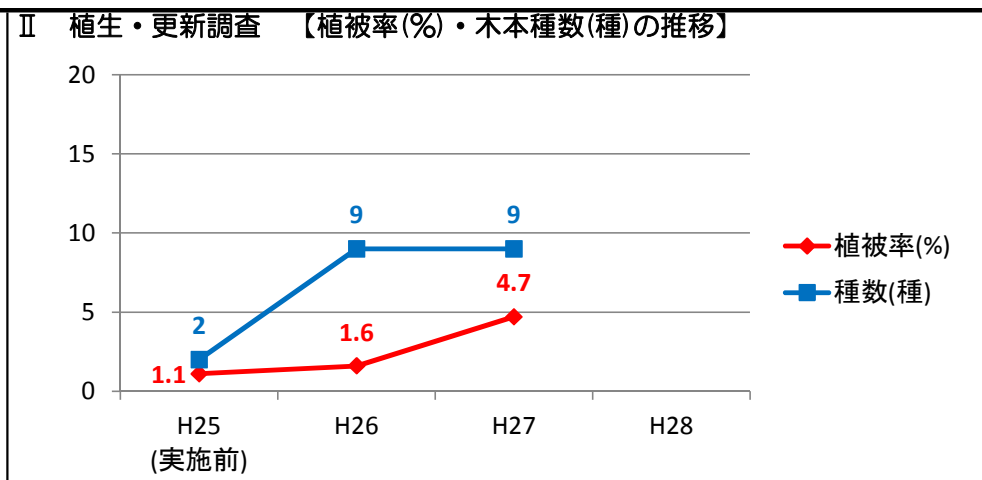
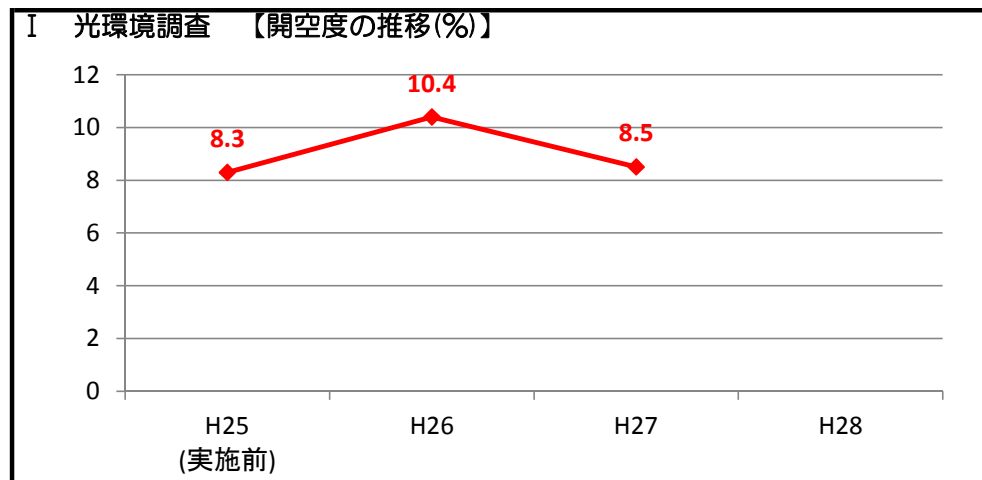
【施業後1】



【施業前2】



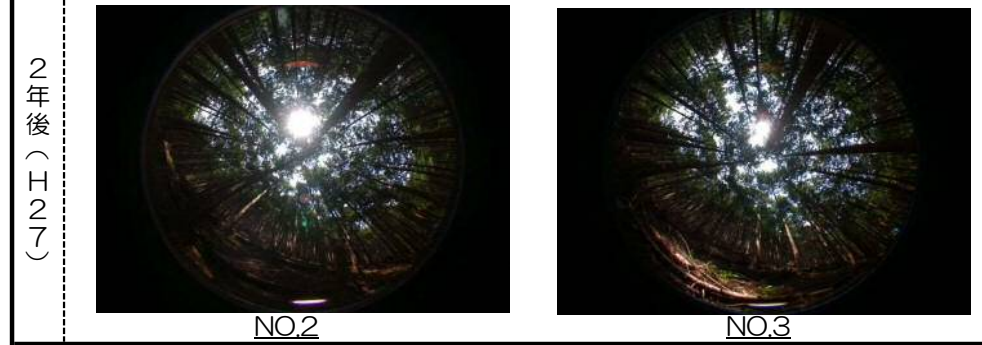
【施業後2】



【現況】

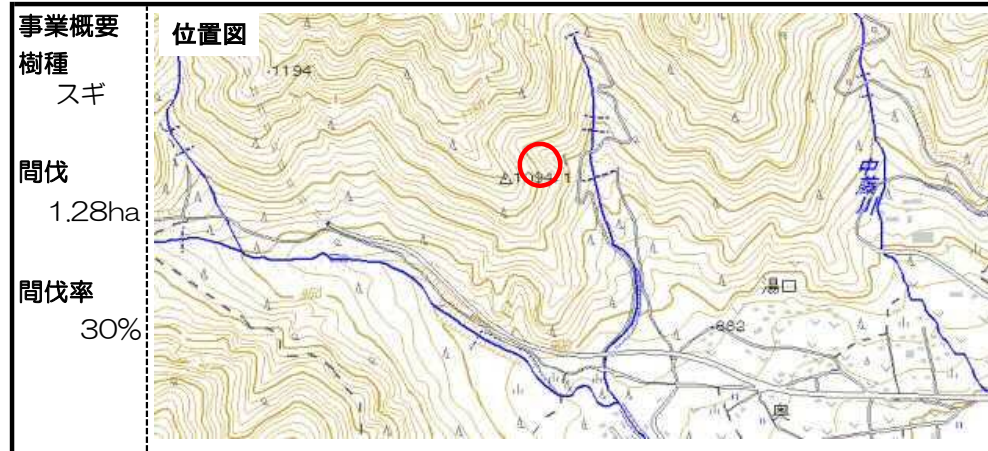
| 毎木調査項目      | 施業前  | 施業後  | 備考 |
|-------------|------|------|----|
| 調査区内立木本数(本) | 82   | 54   |    |
| 平均胸高直径(cm)  | 18.5 | 19.7 |    |

- 間伐の実施により、林内が明るくなった。
- 地表面の平均傾斜は37°と急勾配。
- 伐採木が林内に集積されている。
- 腐植層は薄く、表土が露出しているが、安定している。



【所見】

- 開空度は低下したものの、植被率は改善された。
- 土砂の移動量は増加したが、植被率の改善が芳しくないことや急勾配であることによると思われる。
- 調査区全体での木本種数は維持されており、今後の針広混交林化が期待される。



【施業前1】



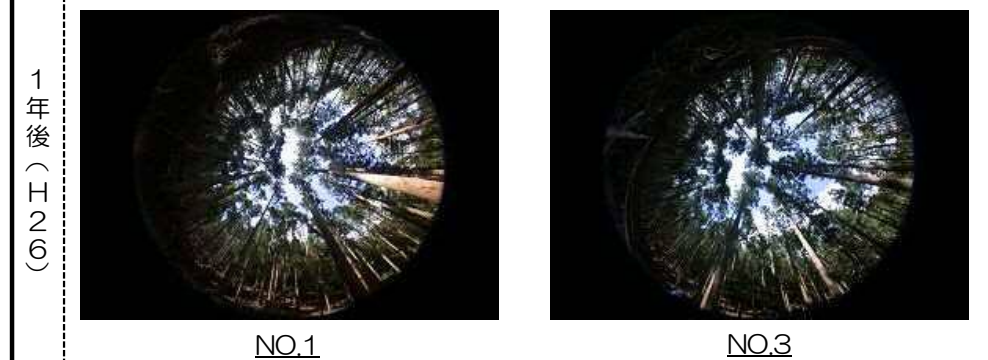
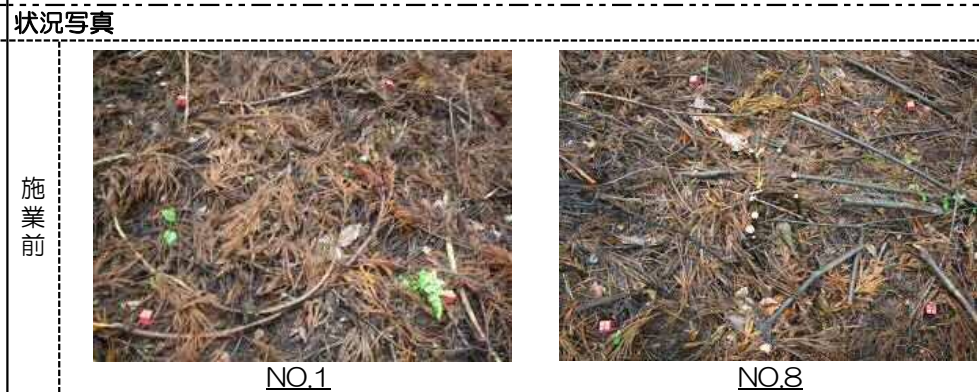
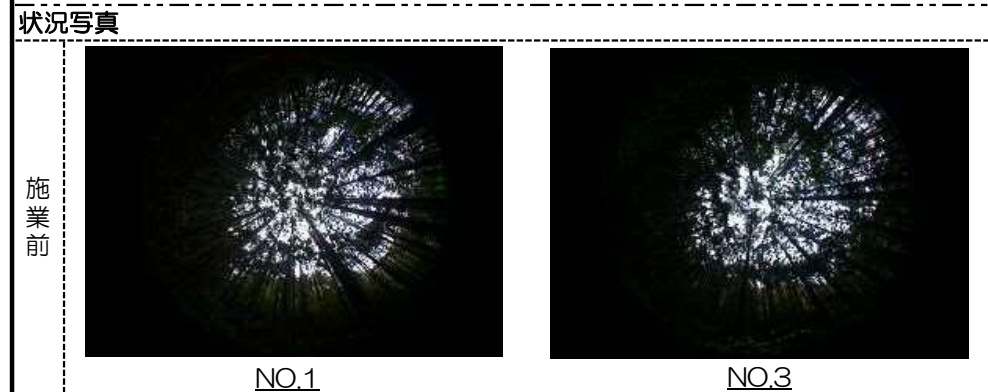
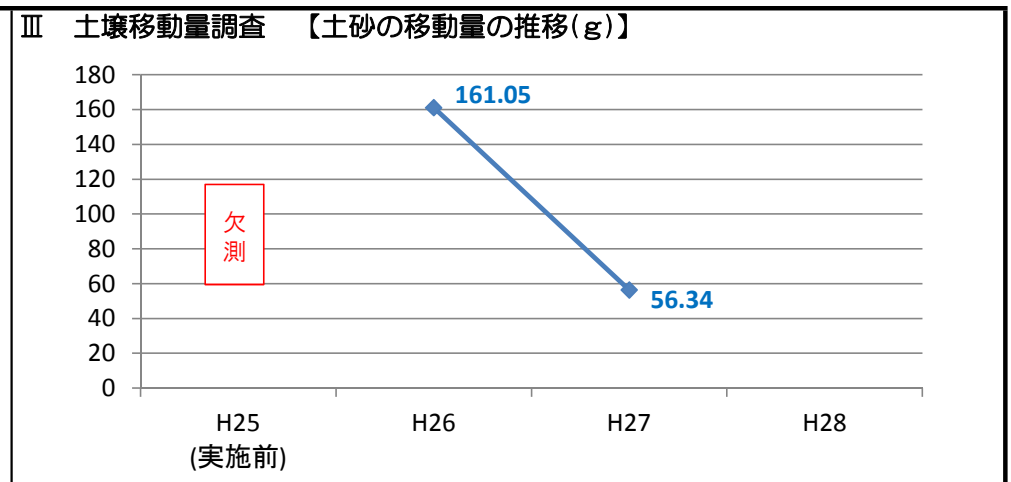
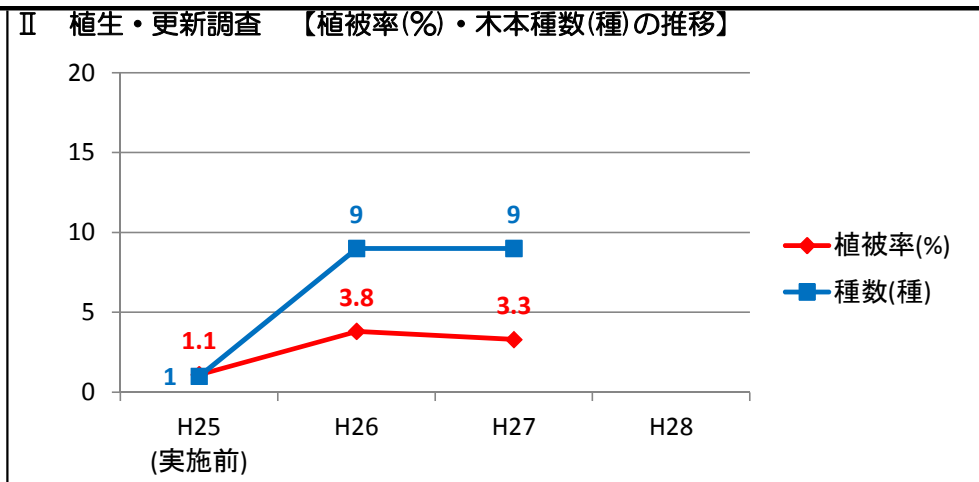
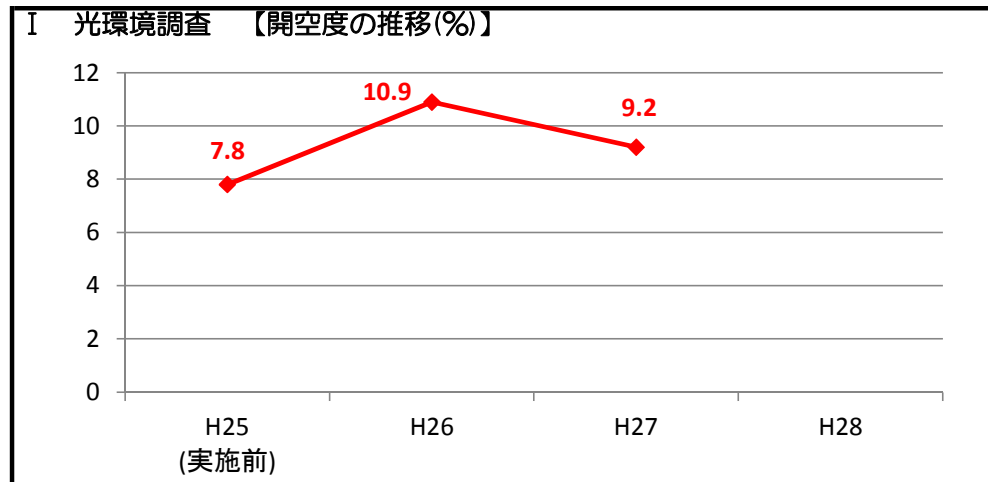
【施業後1】



【施業前2】



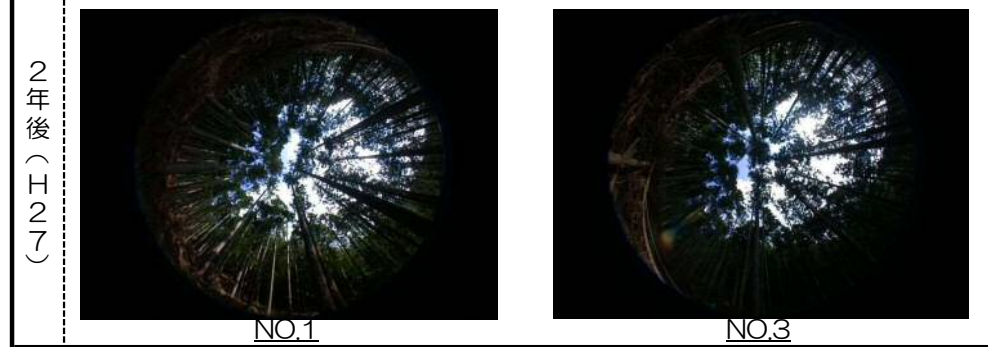
【施業後2】



【現況】

| 毎木調査項目      | 施業前  | 施業後  | 備考 |
|-------------|------|------|----|
| 調査区内立木本数(本) | 50   | 27   |    |
| 平均胸高直径(cm)  | 24.4 | 30.7 |    |

- ・間伐の結果、林内が明るくなった。
- ・地表面の傾斜は32°と比較的急勾配。
- ・搬出後の残材が林内に置かれた状態になっている。
- ・スギの落葉が厚く堆積していることから、現時点では洗掘等土砂流出の痕跡は見られない。



【所見】

- ・開空度、植被率ともに若干低下した。
- ・土砂の移動量は減少し、表土が浸食を受けた痕跡は見られず、安定している。
- ・調査区全体での木本種数も維持されており、今後の針広混交林化が期待される。

広葉樹の森づくり推進事業 モニタリング調査書

調査箇所 ⑬ 山梨市牧丘町杣口山 地内

**事業概要**

|                 |        |
|-----------------|--------|
| 実施年度            | H24年度  |
| 樹種              | ミズナラ   |
| 植栽面積            | 1.84ha |
| 植栽本数            | 2,700本 |
| 〔標準地(10m×10m)内〕 |        |
| 植栽本数            | 15本    |
| 活着本数            | 13本    |
| 食害本数            | 0本     |
| 破損ネット           | 0枚     |

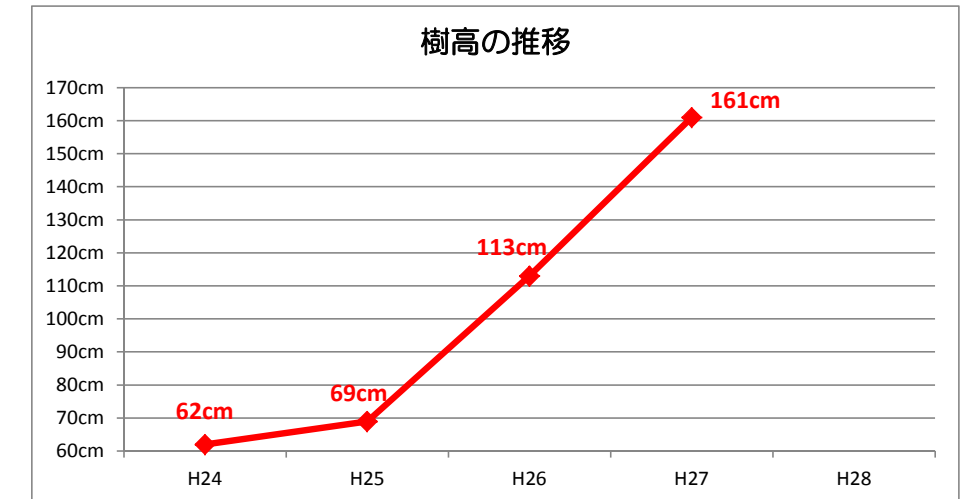
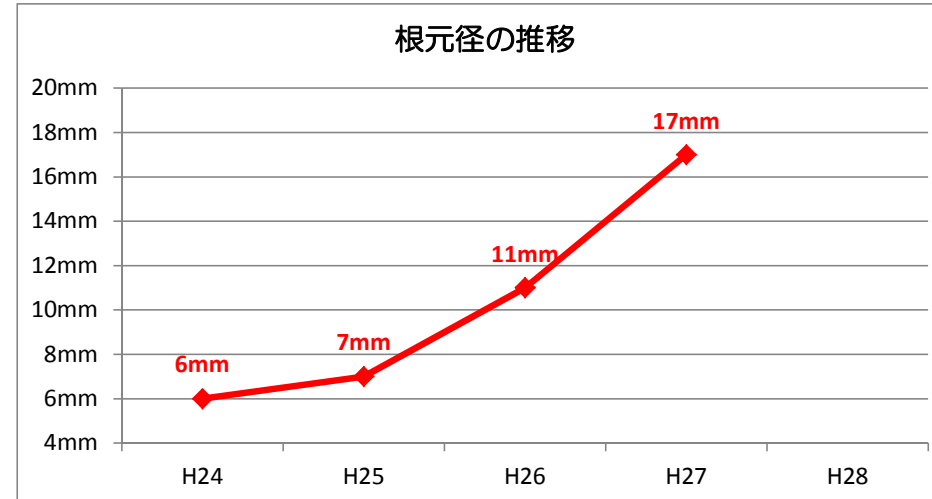
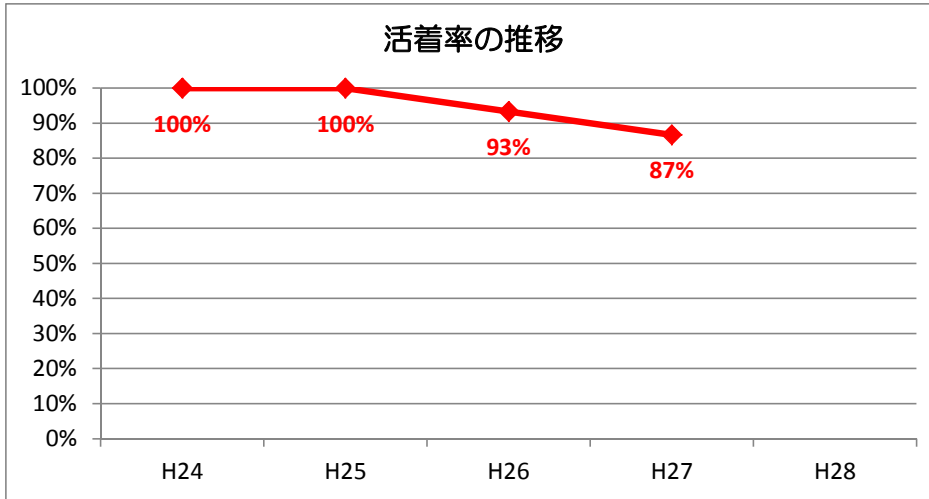


【施業前】



【施業後】

調査結果 (標準地内の状況)



【平成25年度】



**【調査結果】**

- 調査区内の全個体が展葉し、根元径、樹高ともに良好な生育状況を呈している。
- 食害防止ネットにも破損は見られない。

**【所見】**

- 順調な生育が伺われる。今後数年間は下刈りを行い、引き続き生育状況や獣害の有無等に注視していく。

【平成26年度】



**【調査結果】**

- 枯損木が1本発見されたため、今後適期に補植を行う。
- 食害防止ネットは全数が健在。
- 生育状況は、個体間で差異が認められるが、概ね良好である。

**【所見】**

- 順調に生育している。下刈り期を中心に点検を行い、獣害の有無等を注視していく。

【平成27年度】



**【調査結果】**

- 新たに枯損木1本発見されたため、今後適期に補植を行う。
- 新たな枯損箇所の食害防止ネットに破損が見られた。
- 生育状況は、各個体間とも、良好である。

**【所見】**

- 順調に生育している。随時、食害防止ネットの点検を行い、獣害の有無等を注視していく。

広葉樹の森づくり推進事業 モニタリング調査

調査箇所 ⑭ 南巨摩郡富士川町平林奥仙重

事業概要

実施年度 H24年度  
樹種 クリ・ミズナラ  
植栽面積 1.84ha  
植栽本数 3,350本

〔標準地(10m×10m)内〕  
植栽本数 17本  
活着本数 14本  
食害本数 0本  
破損ネット 0枚

位置図

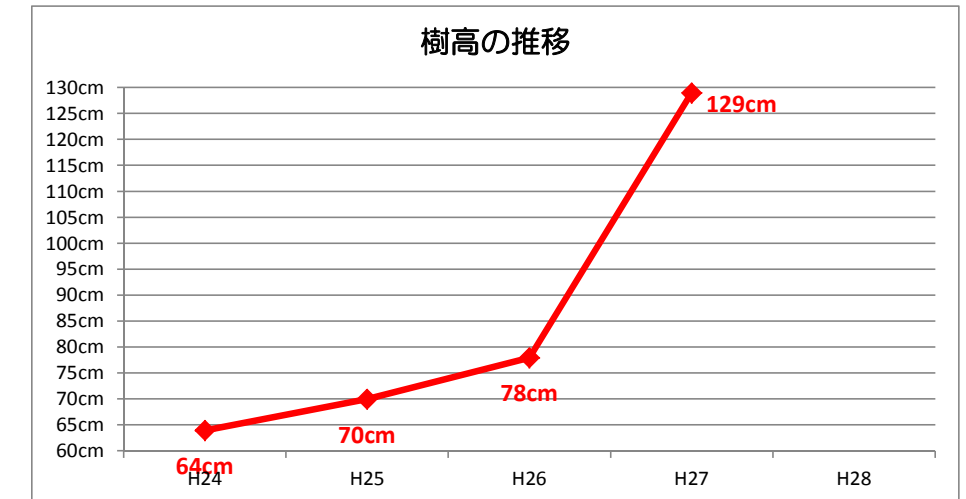
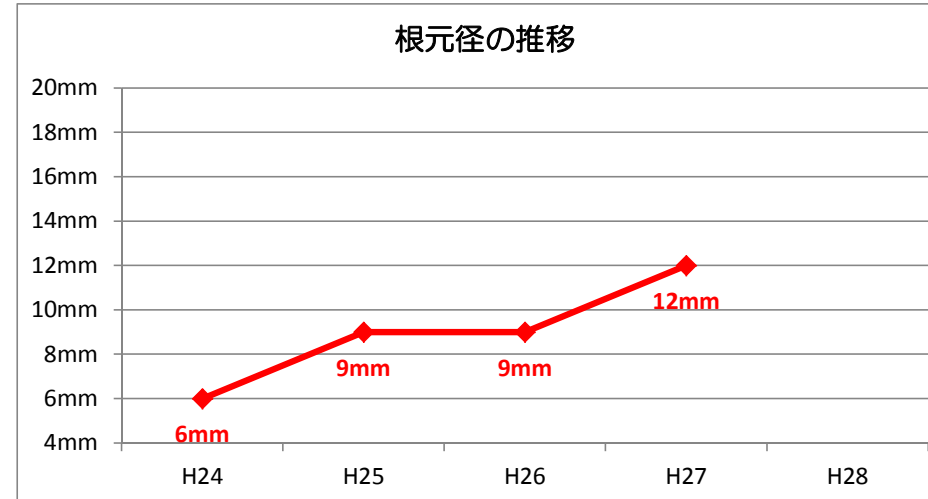
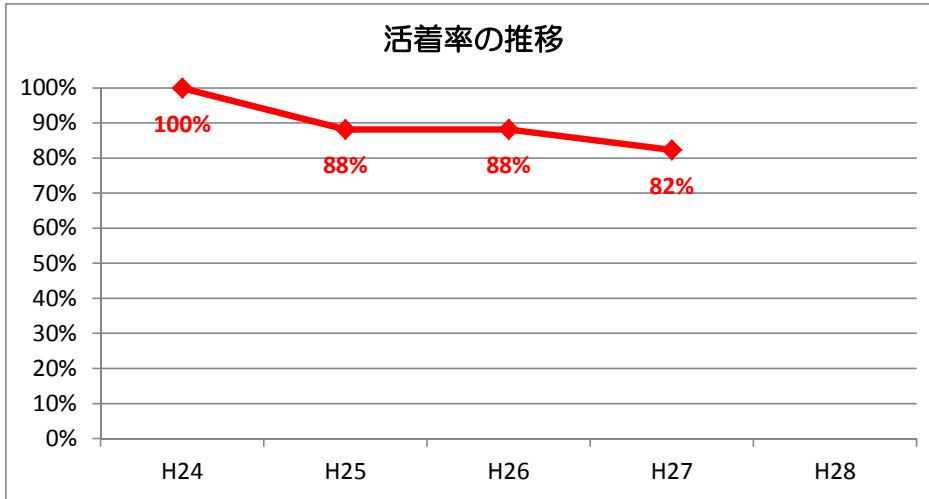


【施業前】



【施業後】

調査結果（標準地内の状況）



【平成25年度】



【調査結果】  
・調査区内の2個体に展葉が見られないが、全体的に根元径、樹高ともに良好な生育状況を呈している。  
・食害防止ネットには破損は見られない。

【所見】  
・ほぼ順調な生育が伺われる。今後数年間は下刈りを行い、引き続き生育状況や獣害の有無等に注視していく。  
・未展葉の2個体については経過観察を行う。

【平成26年度】



【調査結果】  
・昨年度、展葉が見られなかった2個体が枯損し、2個体に先折れが見られた。  
・食害防止ネットには破損は見られない。  
・調査区内で食害防止を設置していないミズナラの実生個体は食害を受けていた。

【所見】  
・2個体に先折れが見られたが、概ね順調に生育している。今後も下刈り期を中心に生育調査を継続する。  
・食害防止ネットの未設置個体が食害を受けていることから、ネットが効果的に機能していることが伺える。

【平成27年度】



【調査結果】  
・昨年度、一部葉がなくなり、生育状況が中庸であった1個体の枯損が確認された。  
・食害防止を設置していないミズナラの実生個体は食害を受けた結果、生育状況は不良であった。

【所見】  
・概ね順調に生育していることが伺える。今後も生育調査を継続する。  
・食害防止ネットの未設置個体の食害が更に進行していることから、ネットが効果的に機能していることが伺える。  
・調査対象箇所近接地の食害防止ネットがシカによりすり下げられた形跡があることから、食害防止ネットの保守・点検を適宜行い、獣害の防止に努める。